

Flowmon Packet Investigator Specification

データシート



Flowmon Packet Investigator

	Lite FP-FPI-L	Standard FP-FPI-S	Business FP-FPI-B	Corporate FP-FPI-C	Enterprise FP-FPI-E	Ultimate FP-FPI-E
ライセンスされたプローブ数	1	2	4	8	8	制限なし
監視ポート	1/10/40/100GbE					
ハードウェア要件*	実行中の PCAP 分析ごとに1つの CPU と 4GB の RAM					

* ハードウェア要件は、すべてのユーザーに対して並行して実行される分析の数に基づいています。1つの分析が1つの CPU コアで実行されます。適切なサイズと構造の PCAP を1回実行すると、RAM メモリ使用量は最大 4 GB になります。参照 PCAP ファイルには次の特徴があります: 複数プロトコルをサポート、100MB のファイルサイズ、150k パケット、10k フロー。

FPI は、クライアントとサーバーの互換性、プロトコルの不一致、またはネットワーク障害などの特定のトラブルシューティングが必要な場合に、選択的にキャプチャされたパケットトレースに対して根本原因分析を実行するように設計されています。スムーズな分析と明確な結果を得るためには、キャプチャの範囲を、問題の診断に必要な最小限のフルパケットデータのセットに限定することが推奨されます。100MB を超える PCAP ファイルの分析を実行することは推奨されません。メモリ使用量と処理時間は、PCAP の特性とプロトコルの組み合わせによって異なります。例えば、合計サイズが 200MB の100万個の DNS パケットで構成される PCAP は、最大 8GB の RAM を消費しながら、処理に約20分かかります。

ここに記述されたメモリ要件は、Flowmon Packet Investigator のみが消費するメモリの要件を示しています。Flowmon アプライアンスに必要な合計メモリは、アプライアンスのタイプと、対応するアプライアンスやモジュールのためにインストールされている他のソフトウェアモジュールによって異なります。

主な機能:

- PCAP 形式でのフルパケットキャプチャ
- ローリングバッファのキャプチャ
- PCAP 分析と診断
- Flowmon ADS (異常検出システム) でトリガーされるキャプチャ
- REST API でコントロールできるトラフィック記録と PCAP ファイルへのアクセス

インフラストラクチャ上に展開されたすべての Flowmon Probe のネットワークトラフィックをオンザフライで記録するフルパケットキャプチャ機能が備わっています。パケットの記録は時間を指定してスケジュールでき、キャプチャされた記録を分析できるよう、一連の PCAP ファイルが生成されます。Flowmon Packet Investigator は、IP アドレス、CIDR、MAC アドレス、プロトコル、ポート、VLAN タグ、MPLS ラベルなどを組み合わせたフィルタリングが可能です。トラフィックからキャプチャしてディスクに保存できるデータ量は最大 500Mbps です。

ローリングバッファは、指定された期間、各フローの最初の N パケットをメモリバッファに保存します。そのため、すでに開始されている通信をキャプチャできます。ローリングバッファに格納されたパケットは、Flowmon Packet Investigator または Flowmon ADS モジュールによって検出されたイベントによってトリガーされた記録に含まれます。

PCAP 分析は、Flowmon Packet Investigator によって記録された、またはユーザーによってアップロードされたフルパケットデータを診断、分析します。このモジュールは、専門家によるディシジョンツリー分析を自動的に実行し、それぞれのプロトコルについて RFC 仕様からの逸脱がないかをチェックし、エラーコードやその他の不具合を記録します。分析の結果は、検出された問題の詳細な説明とともにイベントツリーの形式で提供されます。モジュールには、エラーコードの解釈と改善策の提案が可能な組み込みの専門知識が含まれています。PCAP 分析は、ネットワーク設定やネットワークストレージなどのために使われる一般的なエンタープライズネットワークプロトコルをサポートします。現在サポートされているプロトコルは、次のとおりです: ARP、CoAP、DHCP、DNS、FTP、GOOSE、HTTP、ICMP、IEC104、IMAP、IMF、IP、MMS、MQTT、NTP、POP、SIP、SLAAC、SMB、SMTP、SSL、TCP。PCAP ファイルは、ネットワークに記録したり、既存のデータからアップロードしたりできます。

Flowmon FPI をお持ちのお客様は、それぞれの Flowmon FPI モデルに対応する数の Flowmon Probe を使用することができます。Flowmon Packet Investigator で使用できる Flowmon Probe は、適切なライセンスを取得し、テクニカルサポートサービスを受けられるものに限られます。ただし、Flowmon FPI でパラレルに使用されるこれらのプローブ上の固有の監視ポートが最大100個までという事実上の制限があります。この制限は、Ultimate を含むすべてのモデルに共通です。

プロGRESSについて

プロGRESS (Nasdaq: PRGS) は、テクノロジーが牽引する世界において専心的にビジネスを推進し、多くの企業がイノベーションのサイクルを加速し、躍進して業績を向上させていくプロセスを支援します。プロGRESSは信頼できるプロバイダーとして、インパクトが大きいアプリケーションを開発、展開、管理するための最高の製品を提供し、お客様は必要なアプリケーションとエクスペリエンスを開発し、適切な手法で展開し、すべてを安全かつ確実に管理することが可能になります。1,700のソフトウェア会社と350万の開発者を含め何十万もの企業が目標達成のために確信を持ってプロGRESS製品を利用しています。詳細については www.progress.com をご覧ください。また、[LinkedIn](#)、[YouTube](#)、[Twitter](#)、[Facebook](#)、[Instagram](#) へのフォローをお願いいたします。

プロGRESS・ソフトウェア・ジャパン株式会社
〒106-0047
東京都港区南麻布4-11-22 南麻布T&Fビル
www.flowmon.com/jp
sales_japan@progress.com